

(別記様式第 5 号)

「青果物グローバル産地緊急対策事業」事業評価票

評価担当部局：近畿農政局生産部

取組名	事業実施主体	事業内容	事業費（決算額）	総合評価	A：計画以上の成果
グローバル産地の形成支援	京都果実輸出協議会	輸出対象国の基準に適合した、当該地域での防除指針を作成。	261,580 円 (うち国費 130,790 円)		㊦：計画とおりの成果
					C：計画とおりの成果未滿
				総合所見	成果目標が達成されているとともに、事業計画に即した取組を行い予算の執行も適正に行われた。
評価観点ごとの所見					
a 成果目標が達成されているか					
輸出対象青果物を輸出実績のある既輸出先国以外に新たに 1 か国を輸出先としたことから成果目標が達成されている。					
b 計画に即した取組みが行われたか					
輸出を見据えた地域防除指針作成のために農薬残留分析を実施し、防除体系ごとの農薬の使用状況による農薬残留リスクによる知見を集積し、新たな防除指針の遵守により、輸出対象国の残留農薬基準に沿った農産物の生産はできており、事業計画に即した取組は行われている。					
c 予算の執行が適正に行われたか。また、予算に見合った成果が出たか					
計画どおりの事業を執行していることから適正に行われている。また、輸出実績額が事業費を超えていることから成果は出ているものとする。					

- 1 事業内容欄は事業実施状況報告書に準ずる。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B、Cのいずれかに○をつける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点から所見を記載する。